



東区役所子育て支援課だより



令和3年度4・5月号
発行：東区役所子育て支援課
TEL：287-8612
FAX：286-6500

さかいっこひろば R3年4月 OPEN

こどもと保護者のみなさんが、集い、憩い、交流し、学べる場です。子育てに関する相談や情報提供も行います。

【利用時間】10時～17時

【利用対象】0歳～12歳までの子どもとその保護者

【利用料】無料

【アクセス】堺市堺区三国ヶ丘御幸通154番地 ジョルノ3階
南海高野線 堺東駅 西出口よりデッキ通路にて直結



交流して楽しく過ごす「つどいの場」

- ・赤ちゃんも安心して過ごせる「赤ちゃんのお部屋（授乳室・おむつ替え室もあり）」
- ・絵本に親しむ「絵本のお部屋」



体を動かして遊ぶことのできる「あそびの場」

- ・遊具を使って楽しめる屋内ひろば
親子でふれあい、体を動かして遊ぶエリアです
- ・イベントスペースも併設

発達相談

- ・子どもの発達相談を医師や心理士がお受けし、助言をはじめ、必要に応じて療育や医療など専門機関への紹介も行います。

問合せ

さかいっこひろば 子ども育成課
TEL:072-228-7612 FAX:072-228-8341
発達相談 子ども家庭課
TEL:072-228-7331 FAX:072-228-8341



区役所子育てひろば「にこにこルーム」



にこにこルームは、未就学児とその保護者・妊婦の方が気軽に集い、おもちゃや絵本で遊んだり交流したりする場です。専任のスタッフによる子育て相談も行っています。毎日お楽しみタイムがあります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おもちゃは時間ごとに入れ替え、洗浄・消毒に努めています。

～ご利用について～

◇事前予約制：利用希望日の3開室日前から前日までに、電話かファックスにて受け付けます。

（受付時間は10時～16時 電話：287-8612 ファックス：286-6500）

◇利用定員：午前の部（10時～12時）、午後の部（13時30分～15時30分）

それぞれ先着4組まで。

ご予約の詳細は、東区ホームページ「にこにこルーム」のページをご覧ください。



4月

「こいのぼりを作ろう」

身近な材料を使って、こいのぼりを作りましょう

日時：4月12日（月）・13日（火）・14日（水）

（午前・午後どちらも講座あり）

子育て講座のおしらせ

5月

「これがポイント・楽々おむつバイバイ！」

おむつバイバイ！をテーマに、子育てポイントを元保育士の小仲久子さんが話します。

日時：5月18日（火）・25日（火）

（午前のみ講座あり、午前利用された方が参加できます）



◇子育て講座は、当日にこにこルームを利用された方が参加できます。

～子育て支援コーディネーターからのお知らせ～



【いざという時のために…あなたの子育て応援します！】
堺市ファミリー・サポート・センターを紹介します。

新生活がスタートする春。忙しい毎日をご過ごされている方も多いのではないのでしょうか？
堺市ファミリー・サポート・センターは、子育てを応援したい方（提供会員）と
子育てを応援してほしい方（依頼会員）が、お互いに助け合う形です。

【対象】堺市在住で生後2カ月以上、小学6年生までのお子さんがいる方

【利用料】1時間700円（兄弟姉妹2人目からは1時間350円）

【登録方法】会員登録講習会に参加（1時間30分程度）



こんな時に利用できます

- ◇保育施設への送迎をしてほしい。
- ◇保護者の外出時に保育してほしい。
- ◇急用ができた！

詳しくは

堺市ファミリー・サポート・センター

TEL/FAX：072-222-8066

堺市総合福祉会館（堺区南瓦町2-1）3階

おしゃべりマルシェ♪のお知らせ

「こども園・幼稚園・保育所のちがいてなに？」を
テーマに話します。保育士のふれあい遊びもあります。
みんなで楽しくおしゃべりしましょう！

日時：5月26日（水）10:00～11:15

場所：東区役所2階 201・202 会議室

対象：未就園児とその保護者、妊婦

受付：5月12日から。時間は10～16時、先着6組

◆子育て支援課には、子育て支援コーディネーターがいます。入所や、東区の保育施設情報などお気軽にご相談くださいね。

保健師のミニ健康情報 テーマ「発熱時のホームケア」

発熱は子どもが体調を崩したときによくみられる症状のひとつ。自宅でのホームケアをご紹介します。

■水分補給

母乳やミルク、湯冷ましやお茶。高熱がでたり熱が続いたりするときはいつもより多く発汗しているため、塩分や糖分もとれる経口補水液を飲ませるのもよい。

■食事

水分がとれるようになってから始める。発熱時は胃腸の動きが弱っているため、消化の良いもの（うどんをくたくた煮たもの、おかゆなど）にする。

■冷やす

嫌がらなければ保冷剤や氷枕で冷やす。首すじ、わきの下、足のつけ根など太い血管部分を冷やすと効果的。衣類や掛け物を1枚減らして涼しくするのもよい。

■解熱剤

使用目的は、病気を治すことではなく、発熱による身体の不快感を軽減させること。水分摂取ができ、活気があり機嫌も良好ならば必ずしも必要ではない。

<「急いで受診」の目安>

- 生後3カ月未満の発熱 ■全然遊ばない、眠れずに変にくずする
- ぐったりしている、元気がない ■何も食べたがらず飲もうともしない
- 息苦しそう ■1～2時間前と比べてより悪い
- 手足が数時間たっても冷たく爪の色も悪い

子どもはからだの不調を言葉で伝えることが難しいため、子どもの不調を捉えるには、普段の子どもの状態を観察しておくことが大切になります。



休日や夜間の急な子どもの病気にどう対処したらいいのか？
病院を受診したほうがいいのか？ など困ったときは、こちら↓

大阪府小児救急電話相談（365日 19時～翌朝8時）
TEL #8000 06-6765-3650

小児科医や看護師からアドバイスを受けられます！

◆子育て支援課には保健師がいます。お気軽にご相談くださいね。◆